



能登

広報のと
No. 60
2010.1

諸願達成の願いを込めて
1月7日午前0時、弥栄太鼓の初打ち奉納
が行われ、保存会員が神恩感謝、諸願
達成の願いを込めて太鼓を打ち鳴
らしました。(12ページに関連)



広報のと
第60号

平成22年2月1日発行

発行：能登町 ■編集：広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町字出津新1字1-97番地1

☎：0768-62-10000
能登町URL：http://www.town.noto.shikawa.jp
Eメール：info@town.noto.lg.jp

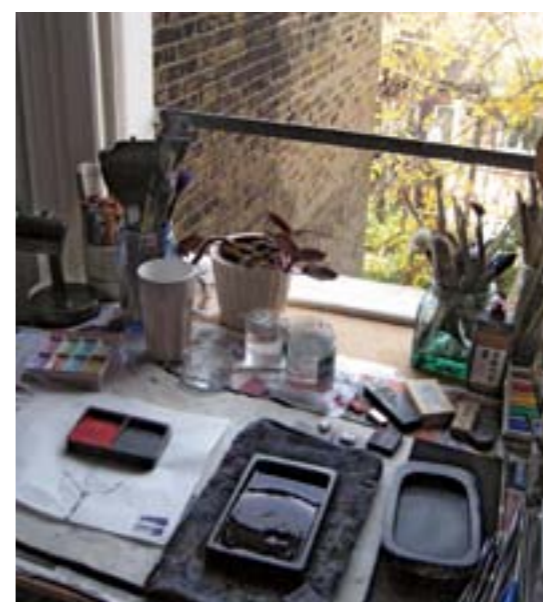
2

平成22年

能登の
英国日和
イギリス

能登町を古里として
英国で活躍する抒情書家

室谷文音がつづる
フォトエッセイ。



8年間住んだロンドンのフラット（アパートの意味）。この窓からの眺めが気に入ってこの家に決めました。毎日見ていたこの風景。いざ引っ越すと少しさみしいです。



雪は降ってもめったに積もらないイギリスですが、今年は何年かぶりにあたりは白くなりました。

「飛行機」

飛行機に乗るたび、私は自分の成長を感じます。イギリスから日本へ帰る飛行機の中。日本からイギリスへ戻る飛行機の中。私にとって空の旅は、

「日本モード」にスイッチが入ったり、「イギリスモード」にスイッチが切りかわる大事な時間です。

この15年間、何度も飛行機に乗っているにもかかわらず、いまだなぜ、あの大きな鉄のかたまりが空を飛べるのか、よくわかりません。

細かいことを考え出したら「事故したらどうしよう」と不安になるので、飛行機に乗ったら「あとは神様の決めること」とおまかせすることにしています。

次回私がロンドンから飛行機に乗る時、私は今までで一番大きな成長をすることになるでしょう。

なぜなら、3月中旬から一年間、日本に帰って来ようと思っているからです。

「能登」という古里が私にできました。

「帰る場所」ができました。8年間住んだロンドンの家の荷物を「送る先」ができました。

内浦長尾のアトリエ・桃花林とうかりんで毎朝コーヒーを入れるのが楽しみです。

室谷文音（むろや・あやね）



昭和55年大阪府生まれ。13歳で渡英し、名門セントラル・セント・マーティン美術大学を卒業。平成18年に両親と共に京都府美山町から能登町に移住する。内浦長尾にアトリエ「桃花林」を構える。21年5月から能登町ふるさと大使。



『舞』



「広報のと」2月号の印刷費は一部当たり24円です。

